



マナビっつうしん

第 22 号

令和3年11月9日(火)

市町村訪問 あいがとうございました

今年度も 19 全市町村を訪問させていただき、社会教育・社会人権教育・生涯スポーツ振興担当者の皆様と懇談をさせていただきました。ありがとうございました。その後も各市町村とは個々に関わらせていただいております。遅ればせながら、市町村訪問から見てきたこと、改めてお伝えしたいことをまとめました。少しでもお役に立てれば嬉しく思います。

<社会教育>

【公民館講座等について】

コロナ禍ではあるけれど、方法を工夫したり、新しい講座を考えたり「できることを進めていこう！」という前向きな様子がたくさん見られ、とても頼もしく思いました。地域の皆さんもそういった講座を楽しみにしている方が多く、ニーズに合った企画を考えてくださっています。

例えば・・・

- ・人数を絞って回数を増やす
- ・野外での活動を多く取り入れる
- ・運動不足解消に「ピラティス講座」
- ・スマートフォンやパソコンの講座
- ・ケーブルテレビを利用した放送

【コミュニティスクールに関わって】

国CSの導入に向けて研修会を開いたり、準備委員会をつくって運営協議会の会則を作ったりと具体的に動き始めている市町村もあります。今ある活動をどのように充実させていくかが大切です。一緒に考えていきたいと思っておりますので、ぜひ声をかけてください。

<社会人権教育>

人と人が集い、語り合い、つながり合うことが難しい状況の中、だからこそ人権教育の歩みを止めずに推進していこうとする担当者の皆さんの思いを強く感じました。すべての市町村を訪問させていただき、改めて人と人がお互いを思い合い、あたたかなつながりを紡いでいく大切さを感じています。

コロナ禍に新たに講座を立ち上げることもむずかしいなあ

人権教育というと難しく堅苦しそうで参加しにくいといわれるし

開催しても人が集まるかどうか・・・



こんな推進上の悩みに対して、無理せずに取り組めそうな工夫について考え合う機会ともなりました。



**他の事業と抱き合
わせてみようか。**

**和やかさ、柔らかさがイメージできる
ような会の名称を考えてみましょうか。**

**計画されている多世代
が集う公民館事業に人
権の視点を設けてみて
はどうでしょう？**

社会人権教育担当主事がお役に立てる場がありましたら、お気軽にお声がけください。喜んでお伺いします。

＜生涯スポーツ振興＞

コロナ感染の状況が終息しない中、スポーツ事業の推進が困難な市町村が多い状況でした。しかし、今年度は「中止」ではなく「できる方法」を考えてスポーツ推進を図ろうとする工夫やコロナ禍だからこそ見えてきたこととお話いただきました。以下はその一例です。

- ①事業そのものを見直すきっかけになった。（無理なく、自主的に参加できる内容に変えていく）
- ②オンラインやリモート、CATV を活用して、いつでも個人で出来る事業へのチャレンジ。
- ③地域住民からのアンケート調査をもとに、住民のニーズを探り、事業計画に生かした。 等

コロナ禍を逆手に取り、まさに“ピンチをチャンスに変える発想の転換”に脱帽です。

もちろん課題も多々あるかと思いますが、課題解決の糸口を共に考え、スポーツ推進のお力になればと考えておりますので、お気軽にご相談ください。

今年はオンライン開催です！
後日 YouTube でも視聴できます！
ぜひご参加ください！

学社連携・協働フォーラム

11月27日(土)

テーマ「学校を核とした地域コミュニティを目指して」 申し込み締め切り 11月16日

パネルディスカッション ～人がつながり、未来につなげるコミュニティスクール～

ファシリテーター 文科省 CS マイスター 西 祐樹 さん

パネラー 玉滝小中学校長 宮坂 寛 さん

大町北小学校学校支援ボランティア代表 中村 真由美 さん

塩尻市地域連携コーディネーター 池上 良満 さん

コミュニティスクール
担当者の方、ぜひご参
加ください！